

平成28年度 地域教育連携・支援センター事業実績一覧

県下学校－大学連携支援部門事業実績一覧

■次世代科学者育成プログラム

※小：小学生、中：中学生

コース	受講者数	開講延数	講座（コース）名
チームマインド育成コースI (5コース)	小15名 中22名	39講座	理科 算数 数学 ロボット 情報
マスターコース (12コース)	小7名 中31名	/	数学①～③ ロボット① 情報① 物理①～② 化学①～② 生物①～② 地学①

■未来の科学者養成講座

※高：高校生

コース	受講者数	開講延数	講座（コース）名
マスターコース (5コース)	高6名	/	数学① 物理①～② 化学①～②

■オープンラボ

開講講座数	開講講座の内訳	申込講座	受講者数
15講座	教育学部2講座、環境科学部1講座、薬学部3講座、工学部9講座	12講座	高校生78名

■高大連携事業 ー高校生のための公開講座ー

区分	実施学部	受講者数
科目履修生としての講座	多文化社会学部	高校生33名 (一部受講8名含む)
	教育学部	高校生6名
高校生公開講座	環境科学部	高校生17名
	工学部	高校生21名

※科目履修生としての講座：本人の希望により高校の単位とするか、長崎大学に入学してからの単位とするかを選択できる。

■サイエンス塾

区分	参加者数	内 容
「科学の甲子園ジュニア」 長崎県大会支援協力事業	13チーム 39名	/
「科学の甲子園」全国大会 長崎県代表校選考連携事業	9チーム 70名	実習「自然現象と近似値」

■ 大学訪問／見学等

受入主体部局	受入回数	訪問者／見学者
多文化社会学部、 言語教育研究センター、 地域教育連携・支援センター	1回	高校生86名、教員4名
経済学部、 地域教育連携・支援センター	1回	高校生30名、教員1名
地域教育連携・支援センター	1回	高校PTA、教員42名
多文化社会学部、 地域教育連携・支援センター	1回	高校PTA、教員50名
入試課、水産学部、 多文化社会学部、 地域教育連携・支援センター	1回	高校PTA、教員30名
入試課、 多文化社会学部 地域教育連携・支援センター	1回	高校PTA、教員47名
入試課、 地域教育連携・支援センター	1回	高校PTA、教員30名

■ サイエンスカーラボ

実施場所	実施数	サイエンスピクニック号 出動回数	参加者数 (概数)
小学校	31回	5回	1,095名
中学校	8回	1回	361名
小・中学校合同	6回		100名
その他(科学館など)	58回	10回	2,664名
合計	103回	16回	4,220名

■ 高大連携事業 — 教員の高等学校への派遣 —

実施形態	実施高校数	派遣教員数
A：入試・学部説明	1校	経済16名、教育12名、環境13名、工学30名、水産16名、医学(医学科)4名、医学(保健学科)13名、歯学1名、薬学10名、多文化11名
B：講義体験	5校	
C：A+B	11校	
D：テーマ別講義 クラスラボ	10校	言語教育研究センター2名、工学6名、薬学4名、経済1名、環境2名、理事1名

■リケジョ育成プログラム※中：中学生、高：高校生、他：その他（教員・保護者等）

区 分	実施場所	参加者数（実数）
夢セミナー	長崎県立諫早高校	中 0 名, 高 149 名, 他 21 名
	長崎県立上五島高校	中 8 名, 高 32 名, 他 19 名
	長崎県立島原高校	中 6 名, 高 88 名, 他 10 名
憧れセミナー	原爆後障害医療研究所	中 7 名, 高 4 名, 他 3 名
	水産学部	中 6 名, 高 2 名, 他 4 名
	三菱重工業(株)	中 8 名, 高 0 名, 他 3 名
志セミナー	長崎大学	中 42 名, 高 79 名, 他 27 名

■C S T（コアサイエンスティーチャー）育成事業

区 分	実施数	受講者数	内 容
大学院C S T養成課程 （養成プログラムⅠ）	25講習 66時間	大学院生 2名 小学校教員 4名 中学校教員 6名 合 計 12名	理科教材研究A 15時間 理科教材研究B 6時間 長崎県の自然A 12時間 長崎県の自然B 12時間 先端科学とくらし 21時間
評価授業 （養成プログラムⅡ）	7回	小学校教員 1名 中学校教員 1名 合 計 2名	勤務校での授業
講師・副講師研修 （養成プログラムⅡ）	4回	小学校教員 1名 合 計 1名	各種研究会、講習会、観察 会等での講師又は副講師

■理数系教員のための基礎講座

講 習 名	参加者数
液体窒素を用いた超低温の世界の実験、 酸素との結びつきによる発熱、 磁石、電磁石に関する実験、 光の全反射、屈折、分散など。光の三原色、赤外線、紫外線 に関する実験、 教科書に掲載されている水圧や大気圧に関する実験を含め、 大気圧を簡単に体感できる実験法	小学校教員 7名 中学校教員 7名

■長崎C S T事業「理科教材検討会」

講 習 名	参加者数
子供が主体的に追究する学びのデザイン、 探究のプロセスを重視した理科授業構想と事例、 質量概念の獲得（重さと質量の分離）に関する教材の工夫、 土を調べよう	小学校教員 15名 中学校教員 17名 その他 2名

■サイエンス・ファイト

実施場所	実験・観察の部出展数	研究発表の部出展数	クイズ大会参加チーム数	一般参加者数(概数)
長崎浜市観光通商店街(ベルナード観光通り)	21ブース	98点	10チーム	6,200名